MAX

取扱説明書

プロ用

このたびはマックスエアコンプレッサをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださいますようお願いいたします。

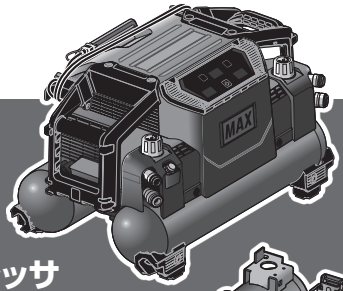
⚠警告

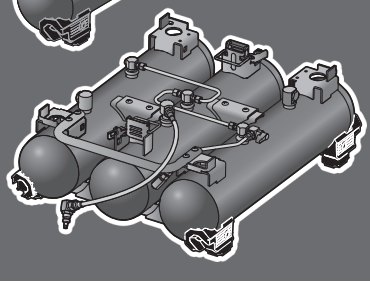
●使用前に必ず取扱説明書を読む。

この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

Bluetooth®





マックス スーパーエア・コンプレッサ

AK-HL1310E2
AK-HH1310E2
AK-T16(44K)(別売り)

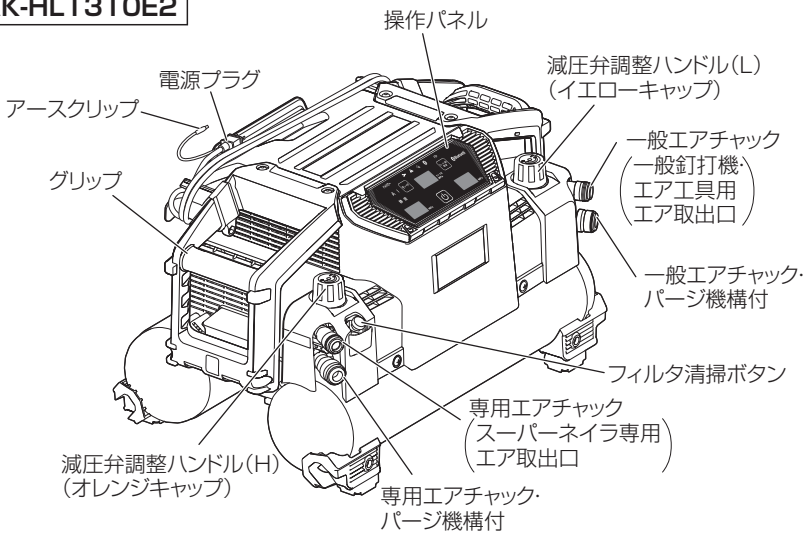
目　次

各部の名称…… 3,4
安全作業のために …… 5～9
安全装置について …… 10
仕様 …… 11
使用方法…… 12～16
パージ（解放）機構付エアチャック …… 17
運転切替え機構について …… 18
ブレーカー落ち軽減の設定・解除方法…… 19
フィルタ清掃（プッシュDメンテ）について…… 20
フィルタ清掃推奨時期のお知らせについて …… 20
スマートフォンでの操作について…… 21～26
警告・点検・異常表示について …… 27,28
デジタル表示（タンク内圧・エラー・警告）について …… 29
運転中の異常…… 30
その他の留意点 …… 31
シリアルNo.表示機能について…… 32
補助タンクとエアコンプレッサの接続例…… 33
AK-T16(44K)との接続方法…… 34～36
AK-T16(44K)の取り外し方 …… 37,38
2連結接続対応表 …… 39
性能を維持するために …… 40,41
困った時は・・・ …… 41
保証、アフターサービスについて …… 42
修理品預かり時の注意事項（販売店の方へ） …… 42

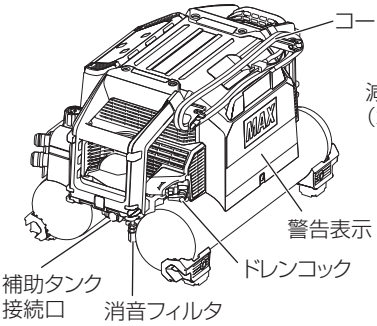
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マックス株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

各部の名称

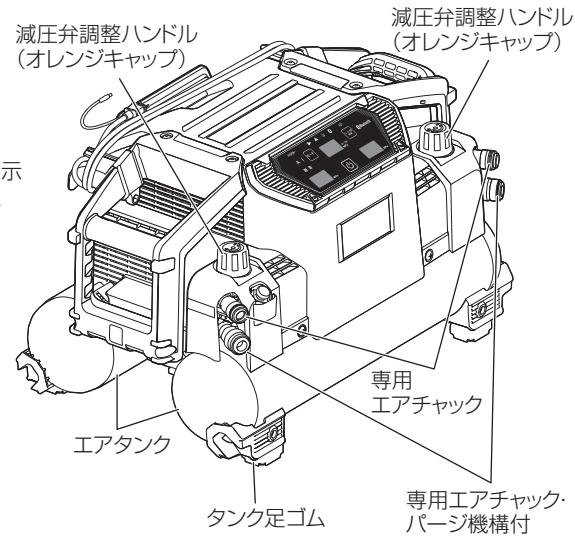
AK-HL1310E2

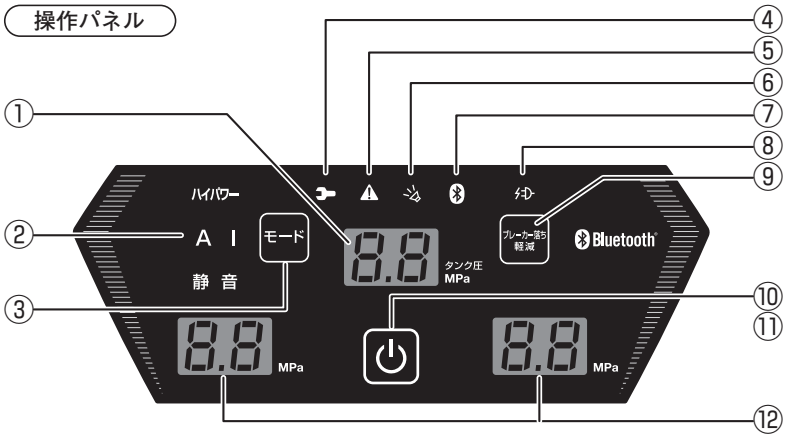


AK-HL1310E2(裏側)



AK-HH1310E2





①	デジタル表示部 タンク内圧デジタル表示 エラー表示 電圧警告表示 (A.H、A.L、Ac) オーバーヒート表示 (O.H)	⑥	防犯アラームLED
		⑦	Bluetooth接続LED（アプリ接続時点灯）
		⑧	ブレーカー落ち軽減LED (P19参照)
②	運転モードLED	⑨	ブレーカー落ち軽減スイッチ (P19参照)
③	運転モード切替スイッチ	⑩	電源スイッチ
④	点検LED／フィルタ清掃推奨LED	⑪	電源LED
⑤	異常LED	⑫	取出圧力デジタル表示

●専用アプリでスマートフォンと接続 (21ページ参照)

専用アプリ「コンプアプリ」をスマートフォンにインストールすることでスマートフォンから遠隔操作や専用モード設定 (防犯アラーム等) などができます。
詳しくは以下のコンプレッサ特設サイトをご覧ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/compressor/

※Google Playストア、App Storeで「コンプアプリ」で検索しても ダウンロードできます。

⚠ 安全作業のために

本機は、釘打機などのエア工具のエア源となるエアコンプレッサです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また本機に触らせないでください。

※文中の各部品設置箇所は3ページ「各部の名称」にて確認してください。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**⚠ 警告** 、**⚠ 注意** に区分しておりますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 安全作業のために

作 業 前

⚠ 警告

作業環境に応じた防具等を着用する。

作業環境に応じて、保護メガネ・防音保護具・保安帽・安全靴等の防具を着用してください。

使用前に必ず点検する。

電源プラグを、コンセントに接続する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり傷んでいないか。
3. 電源プラグ・コードに異常がないか。

不完全なまま使うと事故や破損の原因となります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

電源およびブレーカーは、必ずAC100Vで電流容量20A以上のものを使用する。

必ずAC100Vで電流容量20A以上のブレーカーを使用してください。指定電圧以外の使用や、電流容量20A未満の使用は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。

必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用してください。太さ2.0㎟未満のものの使用及びコードを巻いたままの使用は、故障の原因だけでなく、発火、発熱の危険性がありますので絶対に使用しないでください。

本機の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。（昇圧器を使用すると機械が作動しません）

エンジン発電機や直流電源は以下のマッチング確認が取れている機種以外は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

〈マッチング確認済み機種〉

メーカー名	分類名	機種名	定格出力	定格電圧	定格電流
株式会社やまびこ（新ダイワ）	インバータ発電機	IEG2800M	2.8KVA	単相100V	28A
		IEG2801M	2.8KVA	単相100V	28A

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

本機の設置場所に関しての注意

1. **硬く水平な場所に必ず設置する。**
   移動や落下の危険性のある不安定な場所には絶対に設置しないでください。
2. **揮発性可燃物（ガソリン・シンナー等）のある場所には絶対に設置しない。**
3. **火気や燃えやすい物のそばで絶対に使用しない。**
4. **高温や直射日光が当たる場所は避け、風通しのよい日陰などに設置する。**
   高温や直射日光が当たる場所で使用すると本機の耐久性能が悪くなるばかりでなく、機械本体の温度が高くなって危険です。必ず風通しのよい日陰などで使用してください。
5. **ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には設置しない。**
6. **雨の中や水のかかる場所・湿気の多い場所には絶対に設置しない。**
   水に濡れたまま使用すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので、絶対に使用しないでください。
7. **水没や浸水した場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、絶対に使用しない。**

運搬に関しての注意

1. **運搬時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）（電源LED消灯）、電源プラグをコンセントから抜く。**
2. **運搬前に必ずグリップ、エアタンクなどが変形や破損していないか、ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていたりしないか点検・確認する。**

※異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

3. **運搬は丁寧に行う。**
   衝撃には十分注意してください。

濡れた手で絶対に触れない。

濡れた手で電源プラグ等を持つと感電する恐れがありますので、絶対に触れないでください。

感電事故防止の為、アース端子を必ず接地（アース）する。

アース線をガス管等に取り付けることは危険ですので、絶対に接続しないでください。

※アースの埋め込みやアース線を接続するような工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談してください。また接地と共に漏電しゃ断器の設置された電源に接続してください。

電源コードは大切に扱う。

電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから電源プラグを引き抜いたりすると、電源コード、プラグが変形、損傷し、断線・短絡（ショート）の原因になります。また、電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリースなどに触れないように注意してください。電源コード、プラグが損傷した場合、コンセントに差し込んだ電源プラグがグラグラする、プラグの刃に変色や曲がりがある場合は、修理をご依頼ください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

本機の通風孔や回転部（ファン部）などに異物を入れない。
感電や故障、事故の原因となります。

正しい服装で作業する。
回転部（ファン部）などに巻きこまれないよう、袖口の開いたものや手袋・ネクタイ・ネックレスなどは着用しないでください。

本機にエアホースを接続する前に、必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

本機が正常に作動するか使用前に、必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は、使用しない。
12ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。
※下記の場合は、故障していますから本機を絶対に使用しないでください。
1. 運転開始後、以下の時間が経過してもモータが自動停止しない。

機種名	時間
AK-HL1310E2、AK-HH1310E2	6〜7分

※上記時間は、ハイパワーモード運転時、圧力0〜4.4MPaで停止するまでの時間です。ハイパワーモード以外での運転時、補助タンク接続時、電圧降下時は運転時間が変わります。
2. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。
3. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・下降）しない。
異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

大切に扱う。
落としたり、ぶつけたりすると故障の原因となります。落としたり、ぶつけたりした場合は、外観上異常がなくても、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

本機を長時間連続して運転する用途には使用しない。
釘打機などのエア工具のエア源以外の用途や、長時間連続運転となる用途に使用する場合は、あらかじめ必要性能などを取扱い販売店や弊社担当者に確認してください。

エアセット等の重量物を、エアコンプレッサのエアチャックに直接取り付けない。
取り付けたエアセット等の重量物と本機の振動によって配管部の破損を招くおそれがあります。

⚠ 安全作業のために

作 業 中

⚠ 警告

通風孔をふさいだり、箱の中や狭い場所（車内など）や、本機シリーズの機械同士を横並びに並べたり、また雨天時シート等をかぶせて絶対に使用しない。
異常発熱を招き、故障・事故の原因となる事があります。

上面部に座ったり、物をのせることは絶対にしない。
本機の故障や破損を招くおそれがありますので、上面部に座ったり、物をのせないでください。

本機の通風孔や回転部（ファン部）などには絶対に異物や手を近づけない。
回転部にはさまれたり、巻き込まれたりしてケガをすることがありますので絶対にしないでください。

運転時、運転直後のエアタンク、エアチャック、カバー取付ネジ等、金属部は絶対に素手でさわらない。
空気の圧縮熱で高温になる場合がありますので、火傷をする恐れがあります。移動などは、熱が下がってから行なってください。

異常を感じたら絶対に使用しない。
機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）（電源LED消灯）、電源プラグをコンセントから抜き、使用をやめ、点検・修理に出してください。

作 業 後

⚠ 警告

作業終了時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）（電源LED消灯）、電源プラグをコンセントから抜く。

作業終了時には、エアタンク内のドレンとエアを排出し、電源プラグをコンセントから抜く。

本機を分解・改造・塗装や衝撃を加えることは、絶対に行わない。
本機を分解・改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

本機の保管場所に関しての注意

1. **必ず水平な場所に縦置きせずに保管する。**
2. **雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所に絶対に保管しない。**

⚠ 安全装置について

本機には安全を確保するため次のような安全装置が搭載されています。

●保護機能

不適切な電源や配線方法で本機を使用した場合、本機を適切な周囲環境で使用していない場合、モータ内に異常電流が流れた場合や圧縮機本体に異常がある場合に、インバータによる保護機能が作動し、モータ焼損や機械故障を防止します。
(27ページ参照)

●エアタンク部用リリーフバルブ

本機は圧力センサにより、エアタンク内圧が約4.4MPa※1に達すると自動的にモータの運転を停止します。万一圧力センサの故障によってエアタンク内圧が異常高圧になった場合、リリーフバルブ※2より音を発し、エアタンク内圧を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

※1 3.9-4.4MPa ハイパワーモード時

※2 本機のリリーフバルブは、本体（カバー内）に設けられています。
リリーフバルブの設定圧力の調整はできません。

●減圧弁部用リリーフバルブ

本機の減圧弁(L、H)は、それぞれ圧力調整範囲内で設定されています。
万一減圧弁の故障によって2次配管内(減圧弁とエアチャック間)が異常高圧になった場合、リリーフバルブより音を発し、2次配管内圧力を減圧します。その場合は、ただちに本機の使用を中止し、決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

仕様

項目		商品仕様		
商品名		マックス スーパーエア・コンプレッサ		
商品記号		AK-HL1310E2	AK-HH1310E2	
寸法		(W)573 x (L)351 x (H)336mm		
質量		16kg		
圧力制御範囲	静音モード	ON圧 約2.5MPa　OFF圧 約3.0MPa		
	AIモード	ON圧 約2.5～3.9MPa　OFF圧 約2.9～4.4MPa		
	ハイパワーモード	ON圧 約3.9MPa　OFF圧 約4.4MPa		
モータ		ブラシレスDCモータ 1300W		
使用電源		AC100V（50/60Hz共用）		
		静音モード運転時	AIモード運転時	ハイパワーモード運転時
負荷電流		最大 12A	最大 15A	最大 15A
回転速度		最大 1400min^{-1}	最大 2450min^{-1}	最大 2450min^{-1}
実吐出量FAD（フリーエアデリバリ）※		52 ℓ /min（2.5MPa時）	97 ℓ /min（2.5MPa時）	97 ℓ /min（2.5MPa時）
理論吐出量AD（エアディスプレスメント）		111 ℓ /min（2.5MPa時）	194 ℓ /min（2.5MPa時）	194 ℓ /min（2.5MPa時）
気筒径×行程×気筒数		ϕ60mm×28mm×1, ϕ40mm×10mm×1		
エアタンク容量		11 ℓ		
減圧弁の圧力調整範囲		減圧弁（H）0.1～2.45MPa×1 減圧弁（L）0.1～0.83MPa×1	減圧弁（H）0.1～2.45MPa×2	
リリーフバルブの設定圧力		約4.8±0.1MPa（エアタンク部）		
空気取出口		スーパーネイラ専用エアチャック： パージ機構付×1、ワンタッチ式×1 一般釘打機・エア工具用エアチャック： パージ機構付×1、ワンタッチ式×1	スーパーネイラ専用エアチャック： パージ機構付×2、ワンタッチ式×2	

※実吐出量（FAD：フリーエアデリバリ）は容積形縮機の試験規格：ISO1217（JIS B8341）による測定値です。
※電源状態によって異なります。

使用方法

運転前の点検・確認

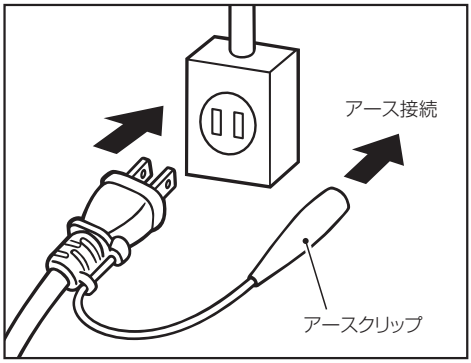
⚠ 警告

- ●使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- ●電源は、必ずAC100Vで電流容量20A以上のブレーカーを使用する。
- ●延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず「太さ2.0㎟以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばした状態で使用する。
- ●適正な設置方向で必ず使用する。
- ●コンセントに差し込んだ電源プラグがグラグラするときは使用をやめる。
- ●感電事故防止の為、アース端子を必ず接地（アース）する。

※5ページからの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。
※文中の圧力数値については、圧力計の読み取り誤差を含んでいません。

❶電源はアースクリップを接地（アース）してから電源プラグをコンセントに差し込みます。そのままの状態で運転モードをハイパワーモードに切り替えます。

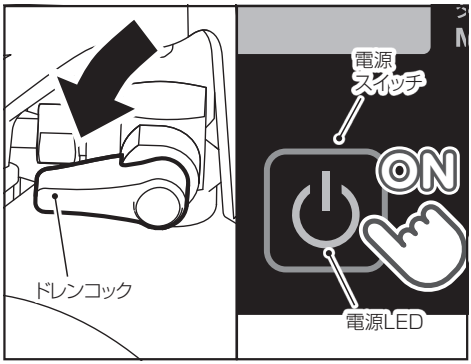
※延長コードやドラムコードなどを使用する場合は有効断面積が2.0㎟以上、長さ30m以内の電線としてください。



⚠ 注意

- ●本機は、電源スイッチがON状態でブレーカーが落ちたり、電源プラグを抜いた場合でも電源はON保持されます。電源プラグを差し込んだり、ブレーカーを復帰させただけで運転が再開します。

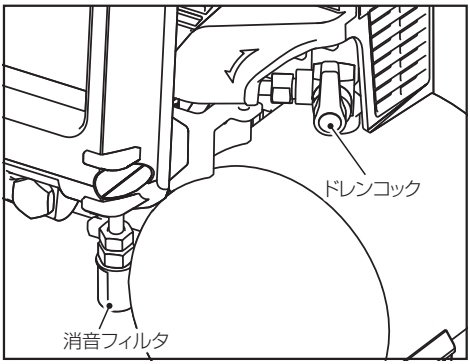
❷ドレンコックを全開にして、電源スイッチを入れます（ONにします）。同時にブザー（ブザー音“ピ”）が鳴り、モータが起動します。（電源LED点灯）

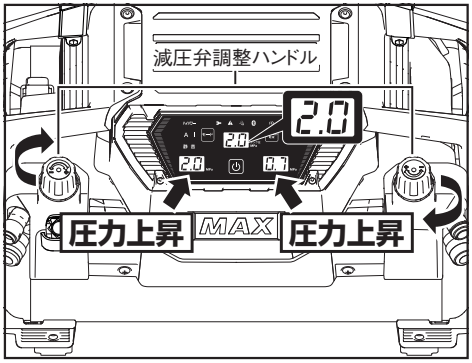


❸モータが回転し、消音フィルタから空気が出ていることを確認してください。

❹ドレンコックを閉じて、消音フィルタからエアもれが無いことを確認してください。

❺デジタル（操作パネル部）のタンク圧力表示が2.0MPa位まで上昇したら減圧弁調整ハンドル（2ヶ所）を右回転させ取出圧力表示が上昇することを確認してください。





⚠ 注意

- 減圧弁の圧力特性によりエアタンク内の圧力が上昇していくと、設定した取出圧力より最大0.2MPa程度変化する事があります。一旦減圧弁調整ハンドルを左に回して減圧してから減圧弁調整ハンドルを右に回し、圧力を上げながら調整を行ってください。
- 減圧弁の個体差により、(HHの場合)左右の取出圧力が一致しない場合があります。
- タンク内圧力の変化により、取出圧力が変動する場合がありますが、減圧弁特性によるもので異常ではありません。

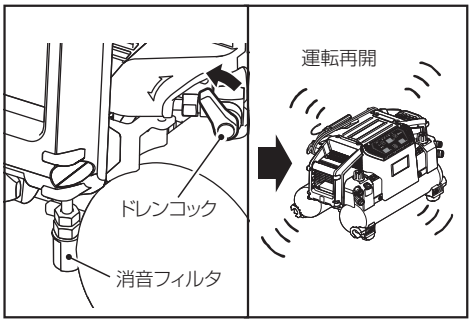
⚠ 警告

減圧弁調整ハンドルを無理な力で回さない。すでに最大に調整された状態ではストッパが働きます。それ以上回すとハンドルが壊れるなど使用不可となり危険です。

❻ハイパワーモード運転の場合、6～7分程度で自動的に圧縮運転が停止することを確認してください。（ハイパワーモード以外での運転時、補助タンク接続時、電圧降下時は運転時間が変わる関係でこの場合は除きます。）

❼運転停止後、5分程度待って、異音・エアもれや再起動運転しないことを確認してください。（タンク内のエアが冷えることにより、タンク圧力が低下する（圧力表示が下がる）ことがありますが、故障ではありません。）

❽ドレンコックを少し開き圧縮空気を排出します。圧力が降下すると、運転が再開することを確認してください。



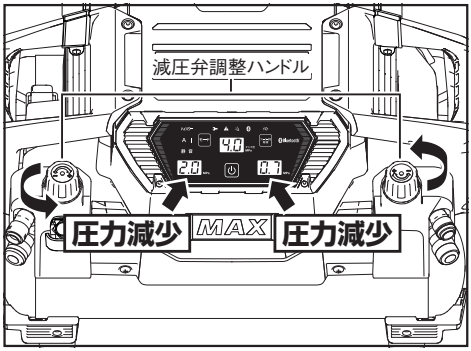
⚠ 警告

●ドレンコックを開くときは、周囲に飛散物がないことを確認し、徐々に開く。また、顔を消音フィルタに近づけない。ドレンコックを一気に全開にするとドレンや圧縮空気により失明や耳を痛める恐れがあります。また、消音フィルタが破損するおそれがあります。

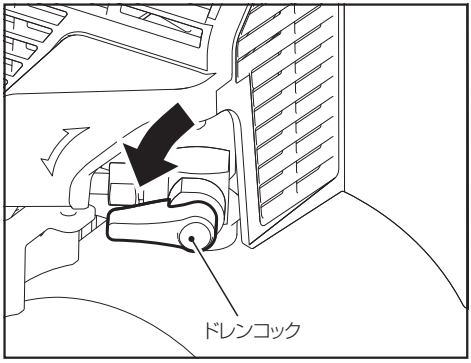
●消音フィルタのゆるみが無いことを確認する。ナットがゆるんでいると、ドレン排出時に消音フィルタが飛ぶ危険性があります。

❾ドレンコックを閉じて圧縮運転中に電源を切り（OFFにして）運転が停止することを確認してください。

❿減圧弁調整ハンドル（2ケ所）を、左回転させ取出圧力表示が下降することを確認してください。（エアもれ音が発生することがありますが故障ではありません。）



⓫ドレンコックを徐々に開き、エアタンク内の圧縮空気とドレンを全て排出してください。



⚠ 注意

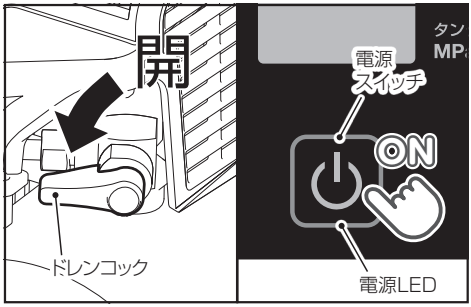
●ドレン排出中に凍りつき、ドレンを排出しなくなる時があります。その場合はドレンコックを操作せずそのまま溶けるのを待ってください。無理に閉めると氷がドレンコック内部を傷付ける場合があります。

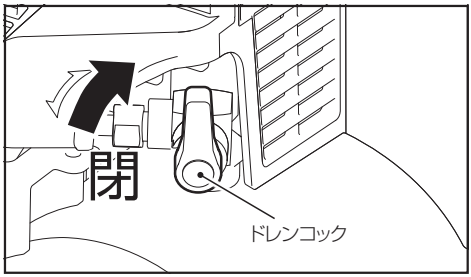
運転前の点検･確認で異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

使用手順

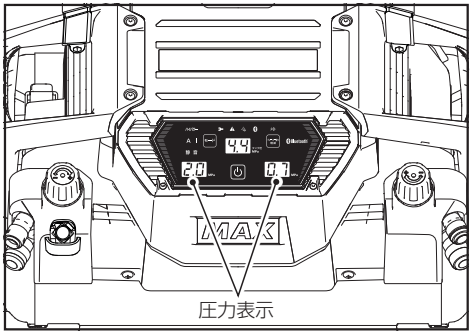
使用する場合は必ず12～14ページ「運転前の点検･確認」を行なってください。

❶ドレンコックを全開にして、電源スイッチを入れます（ONにします）。同時にブザー（ブザー音“ピ”）が鳴り、操作パネルの電源LEDが点灯します。運転が開始したらドレンコックを完全に閉じて圧力を上昇させてください。





❷圧力が上昇して運転が停止しましたら、減圧弁調整ハンドルを回して釘打機･エア工具の適正な使用圧力に調整を行ないます。圧力の調整方法は、減圧弁調整ハンドルを左に回し、適正な圧力より0.2MPa（2kgf/cm²）以下に一旦減圧を行ないます。次に減圧弁調整ハンドルを右に回し、圧力を上げながら調整を行なってください。



⚠ 注意

●圧力設定は必ず運転が停止してから行ってください。運転停止前に設定を行うと減圧弁の特性により取り出し圧力が設定圧力より下がります。
また、運転停止後に設定した圧力で打ち続けた場合、取り出し圧力が上がる傾向にありますので、工具のアジャスタや本機の設定圧力により調整を行ってください。

※圧力を調整する際は、必ず適正圧力より低い圧力から圧力を上げて調整してください。適正な圧力より高い圧力から減圧を行ない調整すると、圧力計と実際の使用圧力に誤差が生じます。（減圧弁の特性）

※ラジオへの影響について
ラジオの近くで使用すると、ラジオに雑音が入ることがあります。その場合は離してご使用ください。（同じ場所で使用していても、天気、交通量、使用機器等、周囲環境によってラジオの電波状態は変化することがあります。またラジオによっては電波感度を自動調整するものもあり雑音の状態は一定ではありません）

※本機には減圧弁が2ヶあり、スーパーネイラと一般釘打機・エア工具を接続することが可能です。（AK-HH1310E2はスーパーネイラのみの接続になります）

〈減圧弁 H〉スーパーネイラ（使用圧力2.45MPa以下）を接続し、使用できます。

〈減圧弁 L〉一般釘打機・エア工具（使用圧力0.83MPa以下）を接続し、使用できます。

⚠ 警告

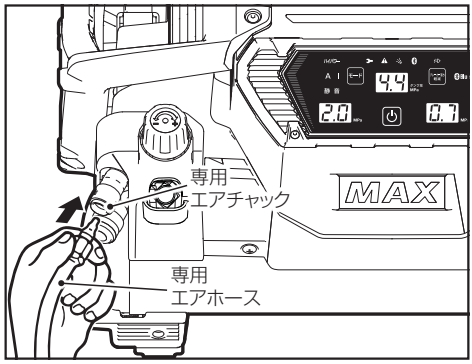
●釘打機・エア工具の使用空気圧を必ず守る。
減圧弁によって供給圧力を調整しないで釘打機・エア工具を使用すると、性能が著しく低下したり、寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

※不適正な圧力（必要以上に高い圧力）で釘打機・エア工具を使用するとエア消費量が増加し、釘打機・エア工具の連続作業性能が著しく低下することがあります。必ず適正圧力に調整して使用してください。

❸供給圧力の調整が終わりましたら、エア取出口（エアチャック）にエアホースを接続して作業が開始できます。

❹減圧弁H側の専用エアチャックにはスーパーネイラ専用エアホースを接続してください。
減圧弁L側のエアチャックには一般釘打機用エアホースを接続してください。

※エアチャックは、ワンタッチ式になっておりますので接続の際は、エアプラグを押し付けるだけで接続ができます。



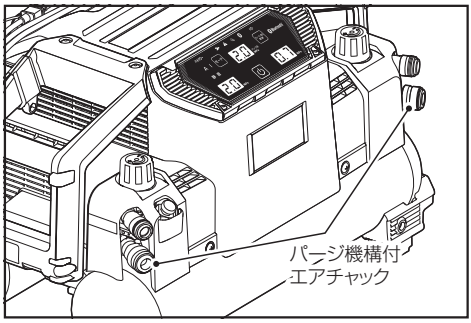
⚠ 警告

●本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

パージ（解放）機構付エアチャック

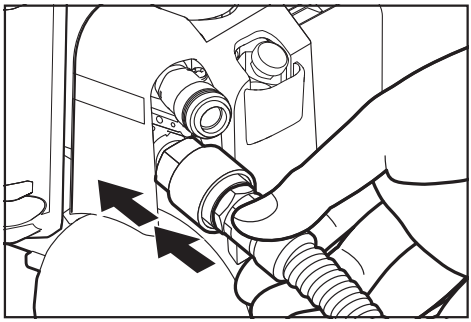
本機にはエアホースのプラグをエアチャックから分離する時にエアホース側の残圧をパージ（解放）する機構が付いたエアチャックを搭載しています。

※パージ機構付エアチャックは下側のエアチャックのみとなります。



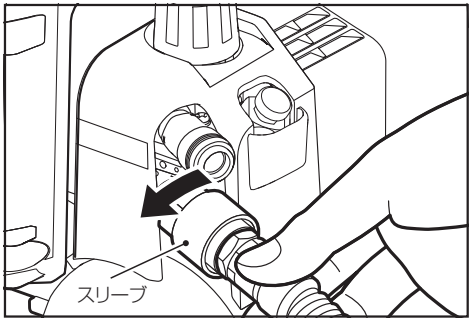
取り付け方

パージ機構付エアチャックはワンタッチ式になっていますが、接続の際は、押し付けが2段階になっていますので、エアプラグを強く押し付けてください。

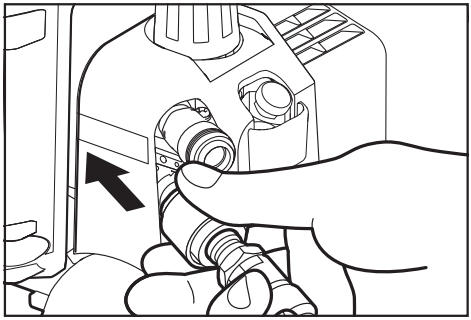


取り外し方

❶スリーブを左側に回します。この時は未だエアチャックは外れない状態で残圧をパージ（解放）します。



❷エアチャックのスリーブを本機側に押し込むことで取り外しできます。



パージ機構付エアチャックの脱着方法についてはこちらの動画をご覧ください。

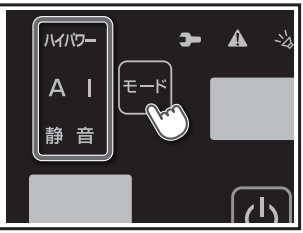
運転切替え機構について

本機の運転切替えは、運転モード切替スイッチで行います。用途に応じ下表のモードに切り替えて使用してください。出荷時は、エアの使用状況に応じて自動でON-OFF圧や電流値が変動するAIモード（初期設定OFF圧:3.4MPa）に設定されています。

・運転モード切替スイッチを押す毎に運転モードが切替わります。

ハイパワー ⇒ AI ⇒ 静音

※スマートフォンからカスタムモードを設定した際は、モードLEDが切り替わりながら表示されます。



エア使用量	運転モード	最大回転数	圧力制御範囲		用途例
			ON圧	OFF圧	
少	静音モード	1,400min^{-1}	約2.5MPa	約3.0MPa	運転音を気にする早朝・夜間・休日やリフォーム作業、ブレーカー落ちの心配がある現場作業
	AIモード	2,450min^{-1}	約2.5～3.9MPa	約2.9～4.4MPa **※エアの使用状況に応じて自動でON・OFF圧や電流値が変動します。コンプレッサに優しい最適運転で寿命が延びます。**	スーパーネイラによる下地打ち、造作作業など
多	ハイパワーモード	2,450min^{-1}	約3.9MPa	約4.4MPa	スーパーネイラによるネダレス打ち、エアインパクトドライバによる金物ねじ締めなど

- 運転中、停止中いつでも切り替えが可能です。
- 運転切り替え時はブザー音（ピ）が鳴り、設定したモードLEDが点灯します。
- 運転中にブレーカーが落ちたり、電源プラグを抜いた場合でも運転状態は前回運転中の状態が記憶されます。
- 極端に電圧が低くなると、どのモードでも電流値を15Aまで引き上げます。電圧が復帰すると自動的に元の設定に戻ります。

⚠ 警告

●本機は、電源スイッチがON状態でブレーカーが落ちたり、電源プラグを抜いた場合でも電源はON保持されています。電源プラグを差し込んだり、ブレーカーを復帰させただけで運転が再開します。

●電圧が低い環境では運転開始後一時停止し、すぐに運転を再開する事がありますが異常ではありません。

ブレーカー落ち軽減の設定・解除方法

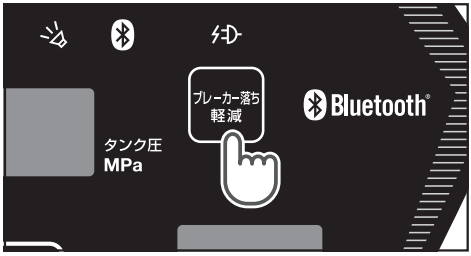
本機運転中に他の電動工具を同時使用するとブレーカーが落ちることがあります。本機には、ブレーカー落ちが発生しやすい状況のときに本機の運転を制御しブレーカー落ちを軽減する機能が装備されています。本機の運転を制御したり、一時的にモータを停止するため吐出能力も下がりますので注意してください。他の電動工具の使用を止めたり、一定時間経過すると自動で復帰します。

ブレーカー落ち軽減の設定・解除方法

ブレーカー落ち軽減スイッチを押すことで、設定･解除されます。

設定･解除されるとブザーが鳴ります。（約1秒）

※設定中は、ブレーカー落ち軽減LEDが点灯します。



⚠ 注意

●ブレーカー落ちを防止するものではありません。ブレーカー落ちが多発する場合は電源、延長コードを見直してください。

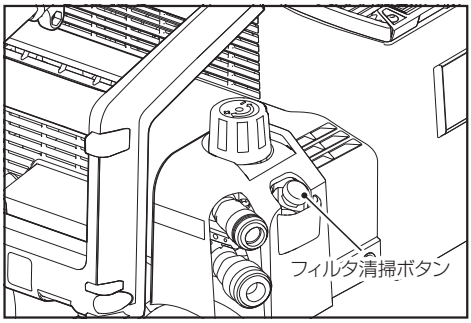
フィルタ清掃（プッシュDメンテ）について

本機には機械内部のフィルタをダスタにて清掃する機能が装備されています。
定期的にフィルタを清掃し粉塵を除去することで空気を圧縮する能力の維持が期待できます。

フィルタ清掃の方法

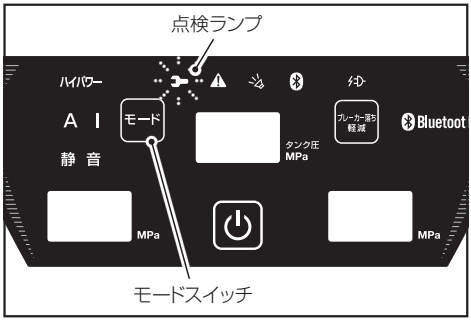
機械向かって左側に装備されているフィルタ清掃ボタンを押下することで、機械内部のフィルタへ清掃用の空気を送り込みます。
*清掃効果として3秒以上の押下を推奨します。

*タンク内に圧力が溜まっている状態で、減圧弁を2.0MPa以上に調整してご使用ください。



フィルタ清掃推奨時期のお知らせについて

コンプレッサが一定時間運転しますと、フィルタ清掃推奨時期として点検ランプが点滅します。点滅が始まったらフィルタ清掃を行ってください。モードスイッチを3秒間長押しすることで表示のリセットを行うことができます。

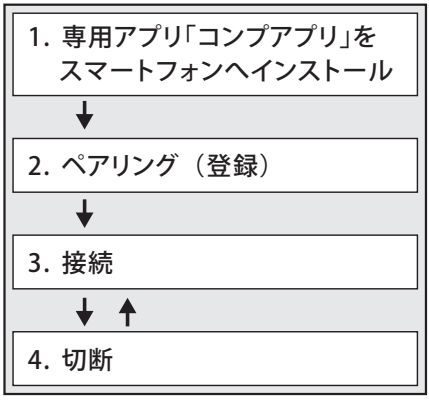


＊アプリでのフィルタ清掃推奨お知らせ

コンプアプリと接続している場合は、状態表示部に「フィルタ清掃推奨」と表示しお知らせします。

スマートフォンでの操作について

本機は、Bluetoothを使用し、スマートフォンと接続できます。
本機とスマートフォンを接続することでスマートフォンから本機の遠隔操作やお客様専用モード設定などができます。
接続には、専用アプリ「コンプアプリ」をスマートフォンにインストールし起動させ、ペアリング（登録）する必要があります。
接続までの流れは右記のようになります。
※詳細の使い方はP24の「取扱説明書(コンプアプリ)」を参照。



Bluetoothと接続できるスマートフォンについて

本機は、下記のBluetoothバージョンとスマートフォンOSバージョンの両方に対応しているスマートフォンで接続できます。

専用アプリ名	コンプアプリ	
スマートフォン	Android バージョン	13～15(推奨)
	iOS バージョン	17～18(推奨)
	Bluetooth バージョン	4.2～5.3(推奨) (Bluetooth Low Energy、Bluetooth Smart、Bluetooth Smart Ready)

※上記のBluetoothバージョンとスマートフォンOSバージョンでの動作を確認しています。
※お手持ちのスマートフォンが専用アプリに対応していないときは、動作しない場合があります。
※お手持ちのスマートフォンが必要な環境を満たしていてもアプリが正しく動作する保証はありません。
※バージョンの確認方法
Android：「スマートフォンの設定アプリ」を選択 → 「端末情報」を選択 → Androidバージョンで確認。
iOS　　：「スマートフォンの設定アプリ」を選択 → 「一般」を選択 → 「情報」を選択 → バージョンで確認。

スマートフォンとの接続方法

1.専用アプリ「コンプアプリ」をスマートフォンにインストールする

❶詳しくは以下の「コンプレッサ特設サイト」にアクセスしていただき、Google Playストア、App Storeのリンク先からインストールしてください。

https://wis.max-ltd.co.jp/kikouhin/compressor/

※Google Playストア、App Storeで「コンプアプリ」で検索してもダウンロードできます。

❷専用アプリ「コンプアプリ」を
インストールする。
ダウンロードサイトの指示に従い、専用アプリ「コンプアプリ」をスマートフォンにインストールしてください。

❸アプリを確認する。
ホーム画面に戻り、専用アプリ「コンプアプリ」のアイコンが表示されていることを確認してください。

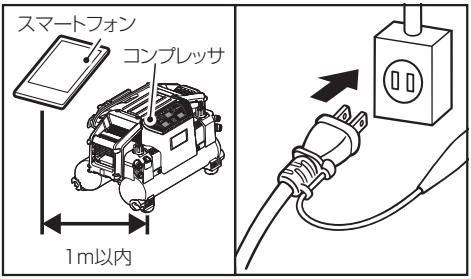
2.コンプレッサとスマートフォンをペアリング（登録）する

初期設定方法:

●コンプレッサとスマートフォンでBluetooth通信をするときはペアリング(登録)を行います。

❶コンプレッサの電源プラグをコンセントに差し込む。

※コンプレッサは、接続するスマートフォンから1m以内に置いてください。



❷専用アプリ「コンプアプリ」を起動する。
スマートフォンのホーム画面に表示されている専用アプリ「コンプアプリ」のアイコンを押し、アプリを起動させてください。

※起動アニメーションが流れた後、利用規約が表示されます。利用規約に同意後、位置情報・写真動画の撮影・写真へのアクセス許可が求められます。許可選択後、起動するメイン画面が表示されます。

❸メイン画面の「設定」を押す。
設定画面に移動します。

❹メイン画面の「ペアリング」を押す。
ペアリング画面が展開します。

❺ペアリング画面の (ᛒ) マークを押す。
ペアリング先選択画面が表示されます。

❻接続するコンプレッサの製造番号
(9桁英数字) を押す。
ペアリング先選択画面に表示されている接続可能機種一覧から接続するコンプレッサの製造番号 (9桁英数字) を選択してください。

※本体背面にラベル表示されています。
ペアリングNo入力ボックスが表示されます。

❼ペアリングNoボックスを押す。
ペアリングNo入力ボックス欄をタップするとキーボードが表示されます。

❽キーボードでペアリングNo数字4桁を入力する。
※初期ペアリングNoは、「0000」になって います。

❾「接続」ボタンを押す。
※接続するまで時間がかかることがありますが暫くお待ちください。ペアリング画面が表示されます。

ペアリングNO控え

⑩接続確認をする。

・ ⓑ マークが青になっていることを確認してください。

・ 左上の戻るボタン「<」を押すことでメイン画面に戻ります。

・ 画面上部に接続しているコンプレッサ接続番号が表示されているか確認してください。

・ メイン画面上部の ⓑ マークが青になっていることを確認してください。

・ コンプレッサ本体のBluetooth接続LEDが点灯します。

・ ボタン部（電源スイッチ、運転モード切替スイッチなど）を押すことでコンプレッサの遠隔操作が可能か確認してください。

※接続出来ない場合は、「コンプアプリ」を終了させ、コンプレッサの電源プラグをコンセントから抜き、❶からの手順で再度ペアリング（登録）を行ってください。

⚠ 注意

●一度ペアリングをすると次回からは自動的に接続されます。再びペアリングする必要はありません。ペアリングされないときは、再度ペアリングを行ってください

※出荷時のアプリ設定は、一度ペアリングすると自動再接続させる設定になっています。

●修理や機種変更を行ったなどペアリング情報が消去されてしまった場合は、再度ペアリングが必要です。

●同時に2台以上のスマートフォンとペアリングをすることはできません。

●全てのスマートフォンとの接続を保証するものではありません。

スマートフォンでの操作、設定詳細について

スマートフォンでの各種操作、設定変更などの詳細については、専用アプリ メイン画面の右上 ☰（メニュー）を押し「取扱説明書（コンプアプリ）」を参照してください。

Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10m程度までの距離で通信を行うことができます。
赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格です。

●通信有効範囲

見通し距離約10m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- Bluetooth接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

●他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

●他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させるおそれがありますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

⚠ 注意

●本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
●Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●予期できない問題が生じた場合、本製品に接続しているスマートフォンや、その他の外部機器の内部に保存されているデータが破損したり、消失したりする可能性があります。
万一に備え、必ず事前にバックアップをしておいてください。またデータの破損または消失、および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●接続ができない場合や通信動作がおかしい場合は、アプリを終了させて、コンプ本体の電源を切断した後、再度立ち上げてください。

●周波数について

本機は2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、マックスのお客様ご相談ダイヤルまでお問い合わせください。マックスのお客様ご相談ダイヤルについては、本取扱説明書巻末をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4FH4

●機器認定について

本機を分解･改造すると、法律により罰せられることがあります。

警告・点検・異常表示について

本機は、マイコンにより常に電圧やモータ運転状態を検知しながら最適な運転制御、運転時間計測を行っています。さらに本機内部の異常な温度、電圧状態時には、デジタル表示部に警告内容を点滅で表示し、保護機能が作動し運転停止した時にはブザーでお知らせします。又、機械異常を検知した場合は、異常LEDが点灯、ブザーでお知らせし、デジタル表示部のエラー番号の点滅表示により異常内容をお知らせします。

●警告・点検・異常表示について

<table>
<tr><th></th><th>LED
表示</th><th>デジタル表示
エラー番号</th><th>ブザー</th><th>モータ
動作</th><th>内容</th><th>状　態</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="9">使用環境見直し</td><td>－</td><td>O.H/点滅</td><td>－</td><td>運転</td><td>温度が
高い状態</td><td rowspan="2">モータ、制御回路など機械内部が異常な温度になっています。</td><td rowspan="9">・本機を風通しの良い場所に設置し、冷ましてください。
・電源、延長コード状態を見直してください。
※⚠安全作業のために作業前（6～8ページ）に記載されている内容を参考に改善を行ってください。
注:改善しない場合はお買い求めの販売店様又は最寄のマックスエンジニアリングサービス（株）にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>－</td><td>O.H/点滅</td><td>ピー、ピー</td><td>停止</td><td>オーバー
ヒート</td></tr>
<tr><td>－</td><td>A.L/点滅</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">運転</td><td rowspan="2">電圧
過不足</td><td>電圧が低いです。</td></tr>
<tr><td>－</td><td>A.H/点滅</td><td>電圧が高いです。</td></tr>
<tr><td>－</td><td>A.L/点滅</td><td rowspan="3">ピー、ピー</td><td rowspan="3">停止</td><td rowspan="2">電圧異常</td><td>電圧が異常に
低すぎます。</td></tr>
<tr><td>－</td><td>A.H/点滅</td><td>電圧が異常に
高すぎます。</td></tr>
<tr><td>－</td><td>Ac/点滅</td><td>瞬停</td><td>電源が一瞬途切れました。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">マックスエンジニアリングサービス㈱に相談</td><td rowspan="7">異常
LED
点灯</td><td>E1/点滅</td><td rowspan="7">ピー、ピー</td><td rowspan="7">停止</td><td rowspan="2">インバータ
異常</td><td rowspan="2">インバータに異常が発生しました。</td><td rowspan="7">お買い求めの販売店様を通じてマックスエンジニアリングサービス（株）に修理をお申し付けください。</td></tr>
<tr><td>E3/点滅</td></tr>
<tr><td>E6/点滅</td><td rowspan="3">センサー
異常</td><td rowspan="3">センサーに異常が発生しました。</td></tr>
<tr><td>E2/点滅</td></tr>
<tr><td>E7/点滅</td></tr>
<tr><td>E4/点滅</td><td rowspan="2">過電流
異常</td><td rowspan="2">過電流異常が発生しました。</td></tr>
<tr><td>E5/点滅</td></tr>
<tr><td>点検
LED
点灯</td><td>－</td><td>－</td><td>運転</td><td>点検時期</td><td>本機の運転時間が約1,000時間に達しました。</td><td>本機の性能を維持し、突発的な不具合を未然に防ぐためにも早い時期の点検をお勧めします。</td></tr>
<tr><td>フィルタ清掃推奨</td><td>点検
LED
点滅</td><td>－</td><td>－</td><td>運転</td><td>清掃
推奨時期</td><td>最後にフィルタ清掃推奨LEDをリセットしてから20時間運転しました。</td><td>フィルタ清掃ボタンを押下して、機械内部の清掃を推奨します。
モードスイッチを3秒間長押しすることでリセットが可能です。</td></tr>
</table>

※ブザー音（ピー、ピー）は、次の操作で停止します。

- 電源スイッチを押したとき
- 一定時間（約5分）経過したとき
- 正常な状態に戻ったとき（温度が下がったとき、電圧が正常範囲に戻ったとき）
- 電源プラグを抜いたとき

〈温度上昇又は電圧異常による運転停止時の再運転について〉

- 使用環境改善により電圧が正常状態に戻ったり、本機の温度が下がり再使用可能となると電源スイッチLEDの点滅とブザー（ピ、ピ）によりお知らせします。この状態になったら電源スイッチを2回押すことで、再起動し使用できるようになります。

※本機の温度が高くなり運転停止した場合は、本機を十分冷ましてからご使用ください。

デジタル表示（タンク内圧・エラー・警告）について

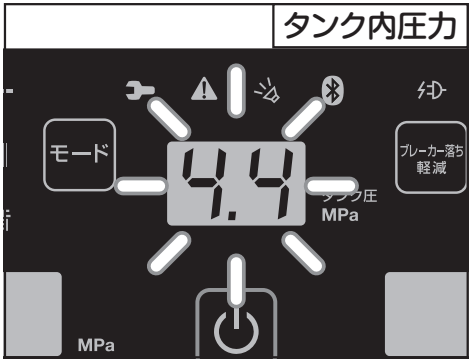
本機操作パネル部のデジタル表示は次のような表示をします。

❶タンク内圧力表示:MPa（0.0～4.4）

本機を運転させるとデジタル表示部にタンク内圧が表示（点滅）されます。
運転待機中はタンク内圧が表示（点灯）されます。

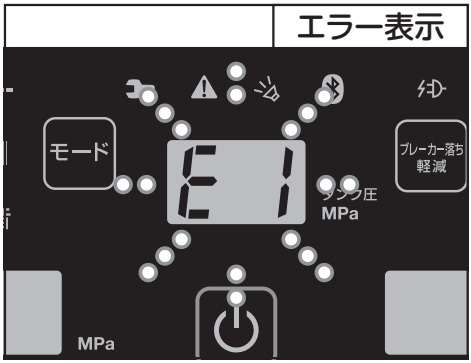
（タンク内圧力表示:点滅状態について）

本機が高温になり、再起動しにくくなるとモータ停止中タンク内圧力表示が点滅になります。この時、本機は再起動するための動作を行うため異音がすることがありますが異常ではありません。



❷エラー表示（E1～E7）

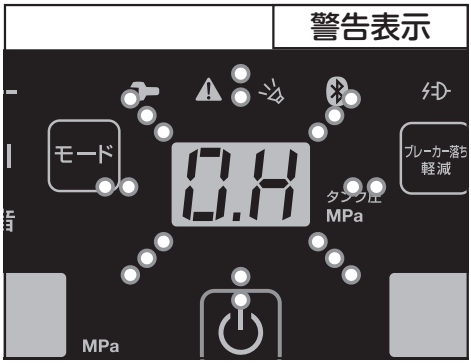
異常検知時にエラー番号が表示（点滅）されます。



❸警告表示（A.H、A.L、Ac、O.H）

異常な温度、電圧時にA.H、A.L、Ac、O.Hが点滅します。

2秒:警告表示（A.H、A.L、Ac、O.H）
↑ ↓
1秒:タンク内圧力表示



運転中の異常

⚠ 警告

●異常を感じたら絶対に使用しない。
次のような異常を感じた時は、直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）電源プラグをコンセントから抜き、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

❶電源、配線に問題が無いのに。
　●電源スイッチを入れても作動しない現象が発生する。
　●モータがうなる。
　　等の現象が出る。
❷運転中に異常な音がする。
❸安全弁が作動し、圧縮空気が吹き出す。
❹空気が漏れている。
❺圧力が上昇しない。
❻金属部に触れるとビリビリする。
❼上記以外でも使用中に異常を感じる。
❽運転異常LEDが点灯している。（27ページ参照）

⚠ 注意

●電圧が低い環境では運転開始後一時停止し、すぐに運転を再開する事がありますが異常ではありません。
●OFF圧で停止後すぐに再起動させると、ロックすることがありますが、そのまましばらくすると、運転再開します。状態によっては数回繰り返すこともありますが、異常ではありません。

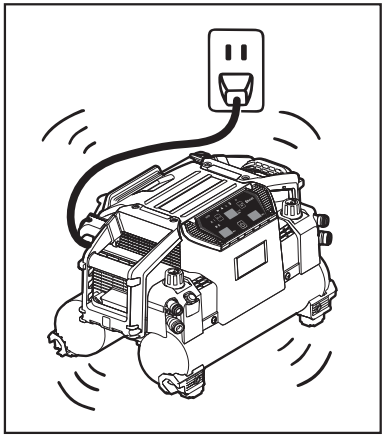
その他の留意点

❶本機を寒冷地で使用する場合

凍結による作動不良を防止するため

㋑本機をあらかじめ暖めてから運転してください。

㋺電源プラグを直接、元電源に接続し暖気運転（ドレンコックを開放したまましばらく運転させる）の後、使用してください。延長コードやドラムコードなどを使用する場合は、必ず 「太さ2.0mm²以上、長さ30m以内のもの」を全て引き出し、のばして使用してください。



㋩冬場など外気温度が低い環境下で静音モード運転を開始すると空気が圧縮されない場合があります。このようなときは起動時に一定時間ハイパワーモード運転（暖気運転）を行った後に静音モードに切替わります。

❷停電時の自動復帰について

⚠ 警告

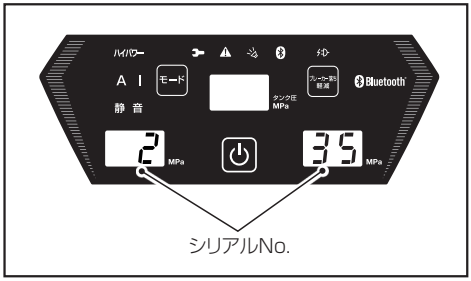
●作業終了時には必ず電源スイッチを切って（OFFにして）（電源LED消灯）、電源プラグをコンセントから抜く。
電源プラグをコンセントから抜いて運転停止させると、再度、電源プラグをコンセントに差し込んだだけで運転が開始し、思わぬ事故や怪我の原因になります。本機は、突然ブレーカーが落ちたり、不意に電源プラグが抜けた場合、再度通電されると同時にコンプレッサの電源がON状態に自動復帰します。

シリアル No. 表示機能について

本機では次の操作を行うことで、デジタル表示にてシリアルNo.の確認が可能です。

シリアルNo.表示モードへの移行・解除方法

移行方法:
電源ランプ消灯中にブレーカ落ち軽減スイッチを3秒間長押しすることでシリアルNo.表示モードへ移行します。

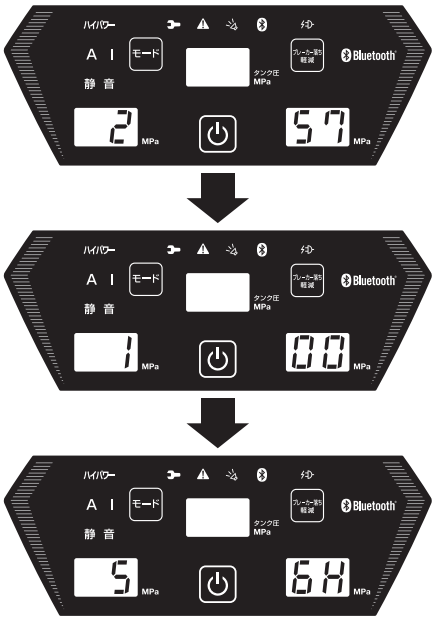


表示方法:
モード移行後に3桁毎（取り出し圧表示の左側で1桁･右側2桁）に表示します。
*約3秒ごとに表示が切り替わります

解除方法：
次のいずれかでモードを解除します。
①既定の表示回数が終了
②電源･モード･ブレーカ落ち軽減スイッチのいずれかを操作

【例】
シリアルNo.が『25710056H』の場合、右図のように表示されます。

シリアルNo.
25710056H



補助タンクとエアコンプレッサの接続例

⚠ 警告

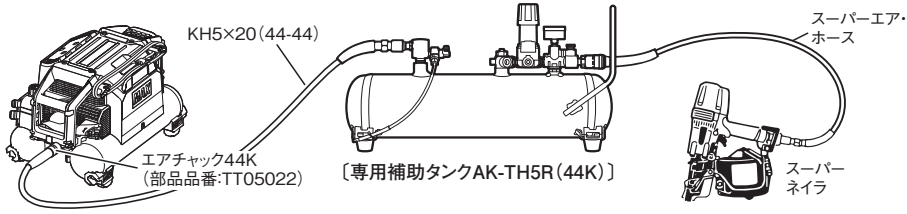
●専用補助タンク使用時は、必ず専用補助タンクの取扱説明書を読む。
●補助タンクに使用するエアホース・接続方法は、下記の表を参照して必ず取扱説明書通りの接続を行う。

補助タンクとエアコンプレッサの接続使用例

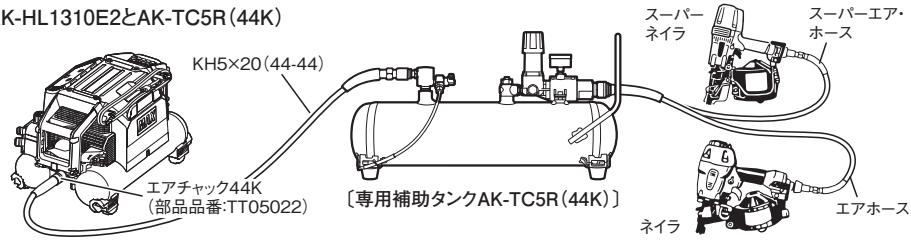
本機の補助タンク接続口（エアチャック44K）を使用する場合

※エアチャック44K（部品品番:TT05022）の取り付けは
マックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

AK-HL1310E2とAK-TH5R（44K）

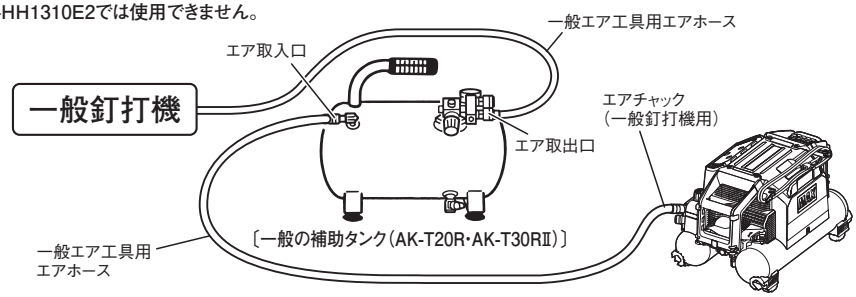


AK-HL1310E2とAK-TC5R（44K）



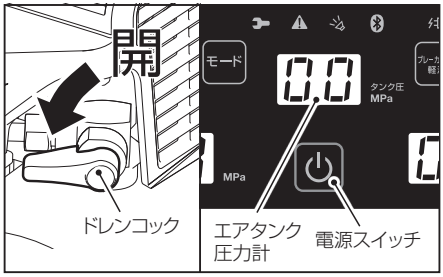
本機の一般エアチャックを使用する場合

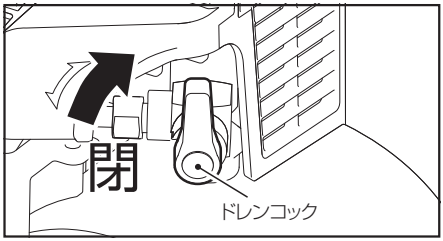
※AK-HH1310E2では使用できません。



AK-T16 (44K) との接続方法

❶本機内の圧縮空気排出状態はエアコンプレッサのドレンコックの開放にて確認してください。
確認後は “しめる” 側にしてください。

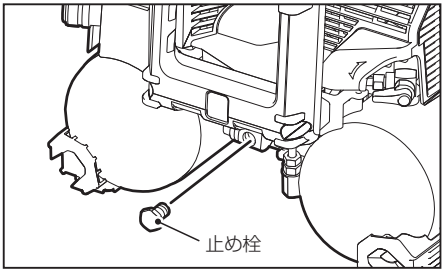




⚠ 警告

●本機とAK-T16(44K)の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから接続する。タンクに空気が残っている状態で止め栓をゆるめると、止め栓が飛散し重大な事故につながるおそれがあります。

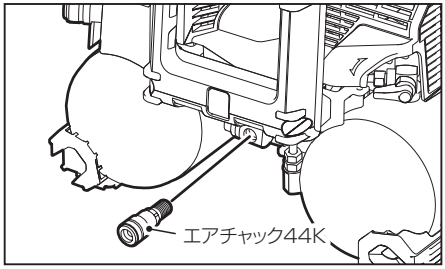
❷本機の補助タンク接続口の止め栓をはずします。
※この止め栓は逆ねじになっています。
右回り (時計の針の回転方向) でゆるめ、左回りで締め込みます。



⚠ 警告

●止め栓をゆるめる際はインパクトドライバ等の電動工具を使用しない。
●エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずす。

❸エアチャック44Kを本機の補助タンク接続口に締め込みます。
(締め付けトルク 11N·m)



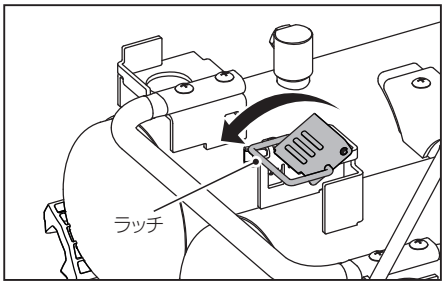
⚠ 警告

●エアチャック44K以外は接続しない。

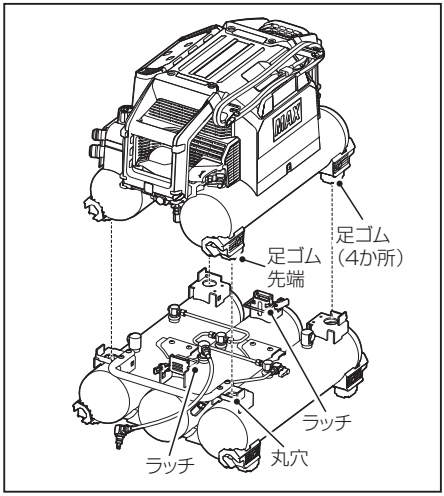
⚠ 注意

●エアチャック44K付属のOリングに汚れや傷が付いていないことを確認する。

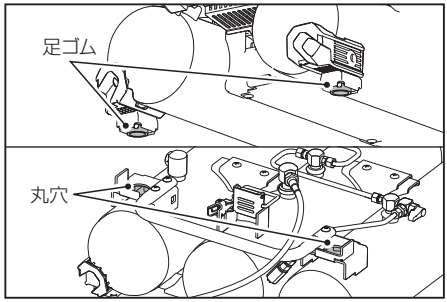
❹本機のラッチを図のように開いておきます。



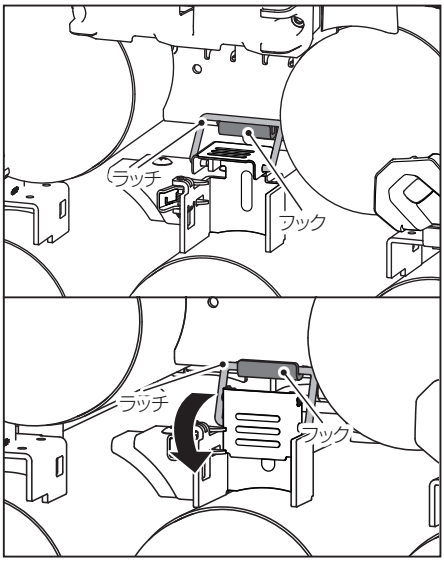
❺本機とAK-T16の向きを図の向きに合わせます。



❻本機の足ゴム(4カ所)をAKT16(44K)の丸穴に合わせて本機を載せます。



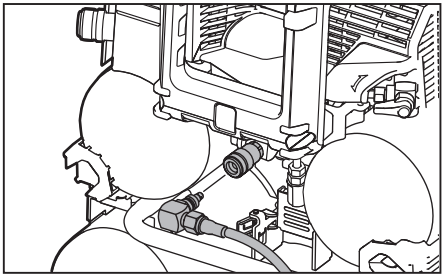
❼AK-T16（44K）のラッチをコンプレッサ側のフックに引っ掛けて固定します。この時、ラッチが確実に留まっていることを確認します。



❽AK-T16(44K)のフレキホースを取り付けたエアチャック44Kに差し込みます。

⚠ 警告

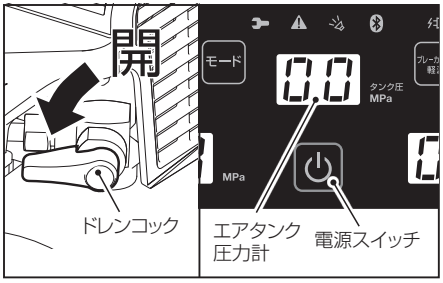
●エアチャック44K以外は接続しない。



●AK-T16(44K)の脱着方法動画はこちらをご覧ください。
https://urld.cc/DaxqjV

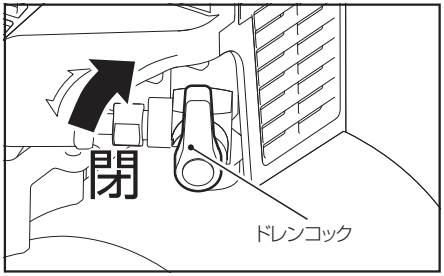
AK-T16 (44K)の取り外し方

❶本機内の圧縮空気排出状態はエアコンプレッサのドレンコックの開放にて確認してください。
確認後は“しめる”側にしてください。

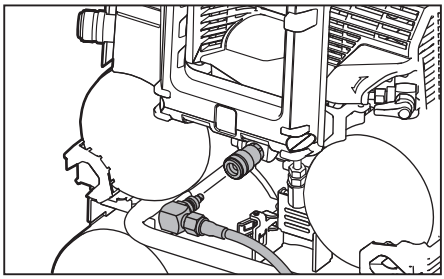


⚠ 警告

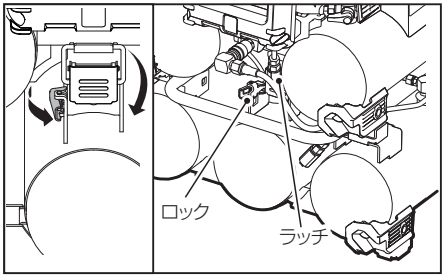
●本機とAK-T16 (44K) の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから取り外す。



❷AK-T16(44K)のフレキホースをエアチャック44Kから取り外します。



❸AK-T16(44K)の前後のラッチのロックを押し込みながらをフックから取り外します。



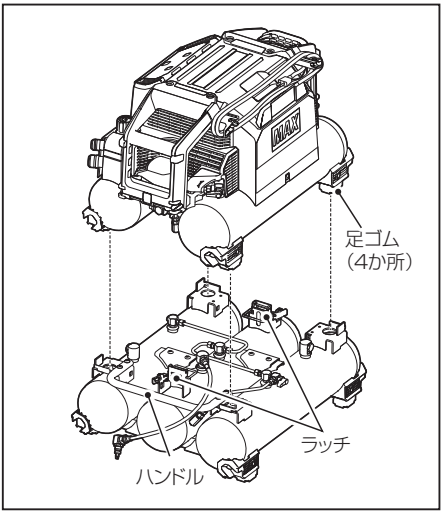
❹本機をAK-T16(44K)から取り外します。

⚠ 警告

●本機のドレンコックを解放し、タンク内に圧縮空気がないことを確認してください。確認後、“しめる”側にしてください。

⚠ 注意

●AK-T16（44K）を持ち運ぶときはハンドルをお持ちください。

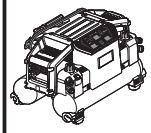


2連結接続対応表

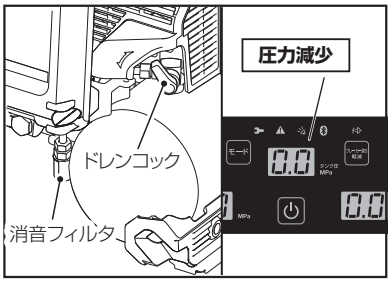
⚠ 警告

●エアコンプレッサの連結時は、必ず連結キットの取扱説明書を読む。
●エアコンプレッサの連結は、下記の表を参照して必ず取扱説明書通りの接続を行う。

※エアチャック44K（部品品番:TT05022）の取り付けはマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

コンプレッサ	接続取出口	接続ホース	接続取出口	コンプレッサ
 **1310E** シリーズ **1270E** シリーズ **1250E** シリーズ **1230E** シリーズ **1110E** シリーズ **7900E** シリーズ	**エアチャック 44K** 部品品番:TT05022	 **44-44Kレンケツホース（2m）** 部品品番:AK14754 ※連結時は2台の運転モードを合わせてください。ガイドが黒	**エアチャック 44K** 部品品番:TT05022	 **1310E** シリーズ **1270E** シリーズ **1250E** シリーズ **1230E** シリーズ **1110E** シリーズ **7900E** シリーズ

性能を維持するために



❶本機のドレン抜き（水抜き）をする。
作業終了時は、減圧弁ハンドルを右に回した状態でドレンコックを徐々に開き、タンク内圧が低くなったら全開まで解放してください。エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）をタンクの圧力計が0を指すまで全部抜いてください。

＊電源コードを挿した状態で、電源スイッチをOFFにして行ってください。

⚠ 警告

●ドレンコックを開くときは、周囲に飛散物がないことを確認し、徐々に開く。また、顔を消音フィルタに近づけない。
ドレンコックを一気に全開にするとドレンや圧縮空気により失明や耳を痛める恐れがあります。また、消音フィルタが破損するおそれがあります。
●消音フィルタのゆるみが無いことを確認する。ナットがゆるんでいると、ドレン排出時に消音フィルタが飛ぶ危険性があります。

⚠ 注意

●ドレン排出中に凍りつき、ドレンを排出しなくなる時があります。その場合はドレンコックを操作せずそのまま溶けるのを待ってください。無理に閉めると氷がドレンコックの内部を傷付ける場合があります。

※ドレン抜き（水抜き）を行わないとエアタンク内に錆が発生し、故障の原因となります。

❷点検LEDが点灯したら点検する。
本機はマイコンにより運転時間を計測しています。本機の運転時間が約1,000時間に達すると点検LEDが点灯します。
点検LEDが点灯したら本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

【点検LEDのリセットについて】
点灯後、電源モードボタンを10秒間押したままにするとリセットが可能です。（点検に出していない機械では20時間後にLEDが再点灯します）

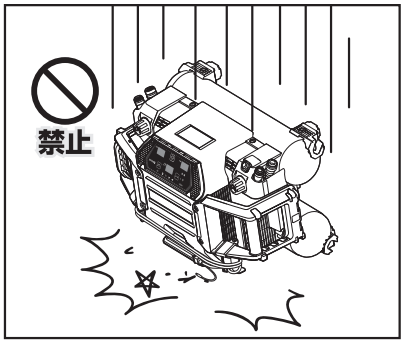
＊1000時間運転した機械は内部の部品が消耗しており、十分な性能が発揮できません。また、他の部品にも影響を及ぼし故障のリスクが高まるおそれがあります。

❸定期的に点検する。
本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行なってください。点検は本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

※エアコンプレッサの清掃には別売りのエアダスタが便利です。エアダスタは、お近くのマックス製品取り扱い店でお買い求めください。

❹定期的にフィルタ清掃を実施する。(プッシュDメンテ)
定期的にフィルタを清掃し粉塵を除去することで、空気を圧縮する能力の維持が期待できます。
(P20.参照)

❺本機を大切に扱う。
落としたり、ぶつけたり、叩いたりしますと変形・亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。



❻使用毎に必ず点検する。
5ページからの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行なってください。

困った時は…

●ご不明点な点がございましたら当社ホームページの「よくあるご質問」をご覧ください。

https://faq.max-ltd.co.jp/category/show/55?site_domain=default&utm_source=torisetsu&utm_medium=qrcode&utm_campaign=ak-1310e2

保証、アフターサービスについて

保証について

●本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●本機の基本保証期間はお買い上げ日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

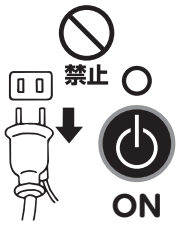
アフターサービスについて

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にご相談ください。
●保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。
※本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

修理品預かり時の注意事項（販売店の方へ）

⚠ 警告

●電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源スイッチを入れない。
機械内部のコンデンサに充電されているため、電源プラグをコンセントから抜いた直後、電源スイッチを入れると動きだす可能性があります。また、これによりケガをしたり感電する危険性もあります。



memo

●マックスお客様ご相談ダイヤル
月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）

0120-228-358
『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

マックス株式会社

●販売拠点等

札幌支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011)261-7141
仙台支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022)236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019)621-3541
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03)3669-8118
埼玉営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048)651-5346
横浜営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045)364-5661
新潟営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256)34-2112
多摩営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042)528-3051
群馬営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027)353-7075
長野営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263)26-4377
東関東営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029)835-7322
名古屋支店	〒462-0819	愛知県名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052)918-8621
静岡営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054)205-3535
金沢営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076)240-1871
大阪支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06)6444-2078
京滋営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075)645-5061
岡山営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086)246-9516
四国営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087)866-5599
松山営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089)913-1893
沖縄営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098)875-3577
広島支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082)291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092)411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099)269-5347

●マックスエンジニアリングサービス（株）

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820
札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL(022)237-0778
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2089
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4104102
250612-00/01

便利メモ

お名前	商品名　AK-HL1310E2・AK-HH1310E2
お買い上げ日　　年　　月　　日	製造番号
販売店名	☎